

杏園祭参加団体各位

平成 30 年 9 月 20、21 日

## 救護マニュアル

杏園祭実行委員会  
委員長 近藤佳  
総務局 阪上桃花

けが、体調不良が発生した際は、以下の応急手当を行い、必ず保険救護担当に連絡をお願いします。井の頭キャンパスへの移転により小さな子供やお年寄りの方などの来場が多くなるため、怪我には特に注意してください。

### ① 擦り傷・切り傷

応急手当

#### ■ 止血法

患部に清潔な布を直接当てて、強く圧迫する。

手足の受傷：心臓より高い位置に上げると血が止まりやすくなる

頭部からの出血：枕などで頭を高くする、もしくは座位を保持する

※頭部からの出血、出血量が多い場合には、早急に保健センターに連絡する。

#### ■ 洗浄・消毒の方法

傷口の汚れを水道水や石鹸で洗い流す。

※受傷部の発赤・腫脹・熱感などが見受けられる場合は保健センターに連絡する。

## ② 捻挫・打撲

### 応急手当

①患部を動かさない。（患部を心臓よりも高い位置に保つ）

②氷や濡らしたタオルなどで冷やす。

【氷は保健センターに常備】

※痛みや腫れがひどいとき、患部の変形がみられる場合は保健センターに連絡する。また不安な場合も保健センターへ連絡。

### 頭部打撲の場合

転倒などで頭部を強打した場合は動かさず、早急に保健センターに連絡する。

※この際、意識と呼吸の確認を行い、負傷者を一人にさせない。

## ③ 熱傷

### 応急手当

すぐに水道水や氷で、痛みや熱さを感じなくなるまで冷やす（20分程度）。

【氷は保健センターに常備】

衣服の上からやけどした場合は無理に脱がさず、まず水を衣服の上からかけて冷やす。

※同時に保健センターに連絡する。

## ④熱中症

応急手当

①衣服を緩め、風通しの良い日陰や、冷房の効いた所へ傷病者を移動させる。

②冷水や冷やしたタオル、氷などを頭・首・わきの下や足の付け根に当てて冷やす。

※同時に保健センターに連絡する。

※自力で水分補給ができない場合は、早急に保健センターに連絡する。

### 予防方法

- ・こまめに休憩をとり、スポーツドリンクや薄い食塩水を補給する。
- ・帽子を被り、日傘をさすなどして、直接日光に当たらないようにする。

## ⑤体調不良など

・頭痛、腹痛、めまい、下痢、嘔吐など急な体調不良の場合は保健センターに連絡する。

・嘔吐があった場合、むやみに処理せず、保健センターに連絡する。

・食中毒予防のためにも、長時間、日光の当たるところで食べ物を置かない。

## ⑥喉に異物が詰まった場合

- ・声が出せるか確認する。

※自力で異物を吐き出せない場合は保健センターに連絡する。

この際、対象者を1人にしない。

- ・咳をしている場合は続けさせる。 異物を取り除くために以下の方法を実施する。

※口の奥にある異物をとるのは困難であるため無理に指を入れない

### 大人の場合



- ①救護者はひざまずく
- ②対象者を自分の方向に向け、横向きに寝かせる
- ③手の付け根で肩甲骨と肩甲骨の間を叩く
- ④口の中に異物が出てくるか確認する

### 小児（1～8歳くらい）の場合



- ①子供を抱きかかえるか、太ももに乗せる  
※この際、小児の頭が体よりも低くなるようにする
- ②肩甲骨と肩甲骨の間を5回程度叩く
- ③口の中に異物が出てくるか確認する

#### 〈連絡先〉

杏園祭実行委員会本部（F棟501）

外線：080-7943-5116

保健センター

内线：0422-47-8001 にかけた後 4111 または 4131 をかける

保険救護担当

総務局 伊藤 佑季

TEL：090-6470-7313

総務局 佐々木 瞳

TEL：080-3169-2787